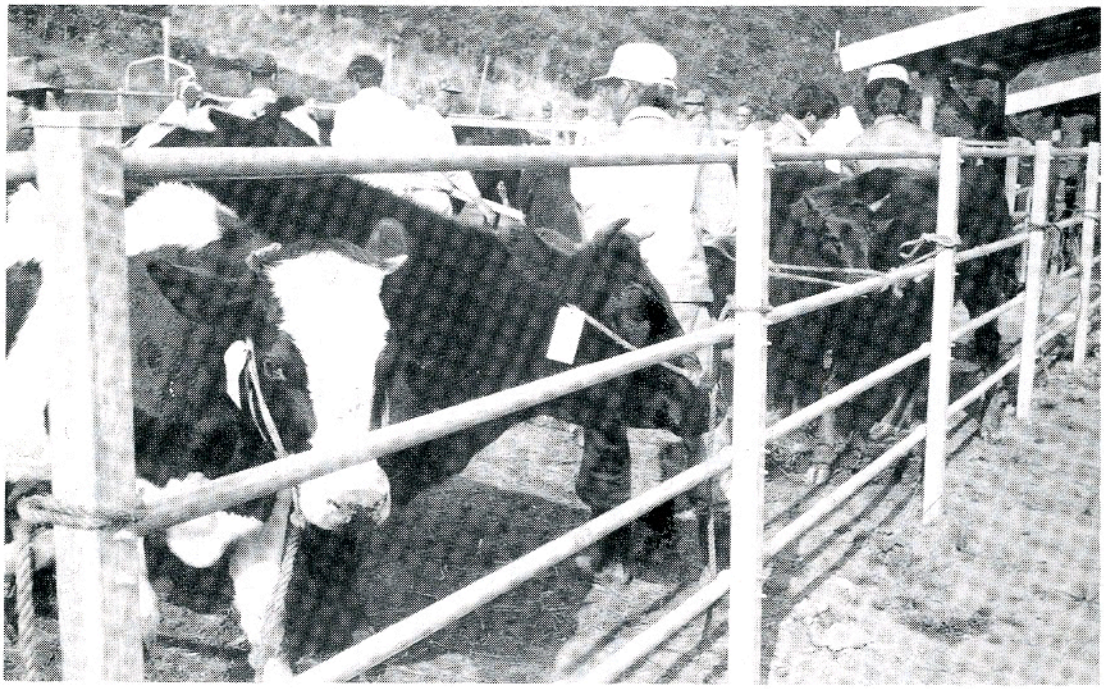
広報
さめがわ

昭和５２年
11月 号
No. 287
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所



ひと夏の放牧を終えて里帰りする牛たちの表情

東白川４町村一部事務組合の経営する東野牧場では、ひと夏の放牧で丸々と太って、見るからにたくましくなった肉牛と乳牛を10月一杯で退牧させました。

看視舎前に集められた牛たちは脚腰も強くなり、ひと夏で 100キロ以上も太った牛もあり、健康そのものの姿でした。

夏は山、冬は里というのが阿武隈山系のすぐれた飼育方式です。

当日は牧場長の中井獣医師、松崎盛義管理人、村経済課職員も別れを惜しみながら棚倉塙鮫川と畜主に引取られてゆく牛の姿をいつまでも見送りました。

- ⊙ １日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ ５日　交通事故相談日（白河地方行政連絡室 TEL 白河(2)１５５０）
- ⊙ 21日～24日　第30回鮫川村文化祭
- ⊙ 第３日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（11月１日現在）

人　口	5,839	（＋８）
男	2,935	（＋１）
女	2,904	（＋７）
世　帯	1,157	（＋１）

共同募金等……目標達成
ご協力有難うございました

目標額　四一二、四〇〇円
実績額　四二八、六三九円

共同募金は、たすけあいの精神により、お互に進んで出し合う寄附金を、各種民間社会福祉事業に計画的・合理的に配分してその向上を図り、かつ社会保障の推進に寄与することを目的として行われるものです。

このたび、皆さんからご寄附いただきました募金は、共同募金会福島県支部に二三五、〇〇〇円、堀川愛生園後援会に五八、〇〇〇円をそれぞれ送金し、一三五、六三九円は、村内の恵まれない世帯や長期入院されている方、及び各福祉施設に入所している方々に歳末たすけあいとして見舞金を贈ることにしています。

（鮫川村社会福祉協議会）

行政区別募金実績

行政区	目標額	実績額
赤坂西野	六四、七六〇円	六四、七八一円
西山	五八、四五〇	六二、〇〇〇
赤坂中野	九二、五〇〇	九三、二一〇
赤坂東石井草野	八三、四六〇	八四、七八〇
富田	三八、三〇〇	三八、三〇〇
渡瀬	五三、九七〇	五四、〇〇〇

土地改良区の新役員決る

このたび任期満了による土地改良区の役員改選が行われ、次のとおり選任されました。

理事長　吉田義一
副理事長　緑川操
会計担当　船木操
工事担当　生田目幸治郎
土地評価担当　小松富治
総括監事　高木定典
監事　生田目政利
（土地改良区）

青生野	二〇、九六〇	二二、六〇〇
その他一般	—	一〇、〇五八
合計	四二、四〇〇	四二八、六三九

おめでた

一〇月

落合　我妻恵美　父我妻清治
落合　我妻由美子　父我妻清治
巡ケ作　塩田育恵　父塩田忠男
新宿　湯座美香子　父湯座良政
鐘撞堂　鈴木裕子　父鈴木則男
前押野　高木洋子　父高木雪廣
渡辺広美　父渡辺昭美
二反田　片野智美　父片野良雄
落合　我妻晶子　父我妻文夫

おくやみ

一〇月

道少田　石井勤　年令　世帯主
21才石井ミヨ
広畑　蛭田一治　67才蛭田一美
石井　中川西克己63才中川西一郎
越虫　国井ハマ　74才国井善郎
青生野　藤田亀太郎83才藤田清治
落合　我妻晶子　0才我妻栄吉
真坂　湯座初男　78才湯座和男

赤信号
老人　子供　白い杖

村政のあゆみ (31)

地方自治制三〇年

村長　石田卯子八

今年は地方自治法が施行されて三〇年になります。中央では一〇月六日に自治省主催の記念式典が行われ、全国の地方自治功労者が多数表彰されました。

私も県町村会長のゆえで自治大臣の案内をうけ国立劇場の式典に参列することができました。

当日は天皇陛下のご臨席があり簡素ながら厳粛な行事でした

地方自治法は新憲法の条章に明記された本旨に基づいて制定された基本法で、日本国憲法と地方自治法は親子または双生児関係にあると説く人もあります。

戦前の市制町村制とは異り、住民自治を基調として地方分権と市町村の自主性を強調している点が特長といえます。

しかし施行以来三〇年の歩みを回顧すると、まことに多事多難の道であったことが追想されます。

昭和二〇年代は戦後の混乱と極度の財政難の中で、新しい制度が次々と打ち出され、市町村は右往左往した模索の時代といえそうです。

次の昭和三〇年代は次第に落ちつきを取り戻したとはいい、財政難は依然として続き何処も同じ赤字財政に悩みました。

わが村がこの時期に財政再建団体、即ち禁治産指定を免れ得たのは、緊縮財政が住民の皆様に支持され、納税の完納が続けられたことが大きな要因であったと思います。

三〇年後半には国の財政援助も広く行われるようになり、村内各小学校校舎の新築、林道村道等の改良、消防施設の整備などを進めることができました。

昭和四〇年代に入ると第一次農業構造改善事業、辺地対策事業、林業構造改善事業、第一次山村振興事業、村道林道開拓道などの開設改良が行われ、住民福祉の施設にも重点が指向されました。

半面経済の高度成長に伴ない人口の過疎現象が起り、その対応策に追われました。

工場誘致もいくつか実現したが大勢を阻止するまでに至らなかったことは各地とも同じ傾向であります。

昭和五〇年代は経済の低迷期に入り国、県市町村とも税収は伸びず、膨張した機構を抱える地方自治体は運営が容易でない時期に入りました。

地方自治が三〇年の年輪を積んだこの時点で考えられることは、困難をのり越えて進んできた多くの事績が、住民と当事者の不断の努力によるものであることを卒直に評価すべきであるとともに、制度発足の当初目標とされた地方分権と自主性の伸長ということが道なお遠しの感が深いことであります。

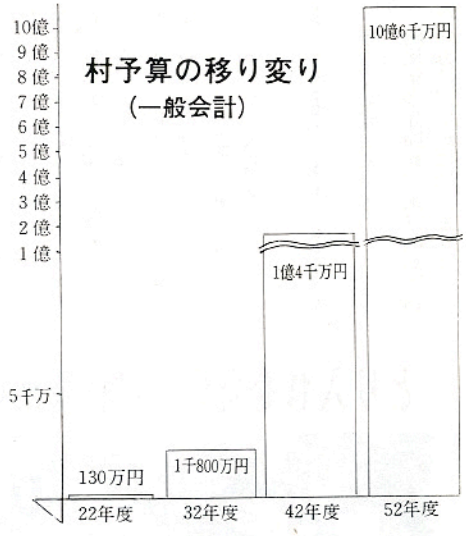
特にそれは財政の面で顕著であり、今後の大きな課題として解決の努力をつくすべきものと思うのであります。

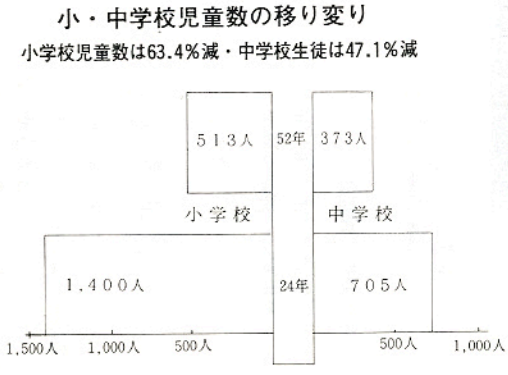



旧鮫川村公会堂

よろこびの時も、悲しみの時も村民はいつもここに集って心を分け合った。村民に親しまれた鮫川村公会堂。

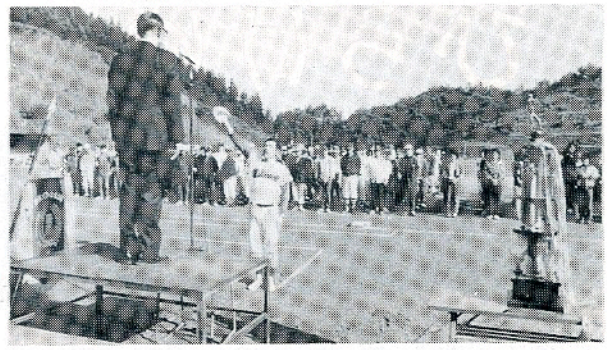
大正３年　建　築
昭和23年　公民館に改称
〃　25年　改　装
〃　41年　とりこわし
（活動＝53年間）






旧鮫川小学校

村民体育の行事ますます盛大



参加者400人 ― 体力づくり秋季大会

壮年ソフト・家庭バレーボール

10月10日昭和52年体力づくり秋季大会は、ソフト18チーム、バレー13チームが参加。ソフトは村民運動場、バレーは鮫中屋体でにぎやかに開かれ、健闘の結果次のチームが優勝しました。

ソフトボール　中野Aチーム
バレーボール　渡瀬A'チーム

使う火を　消すまで
はなすな　目と心

秋の全国火災予防運動

11月26日～12月2日

暖房の必要な時期になりました。石油ストーブやコンロは正しく使いましょう。

- ⊙ 石油コンロをこたつの中で、使用しないこと。
- ⊙ 火をつけたまま、持ち運びしないこと。
- ⊙ 給油は、火を消してからすること。
- ⊙ マッチは、子供の手の届かない所におくこと。
- ⊙ お出かけ前、おやすみ前には必ず火の点検をしましょう。

なおわが村では、四月一一日、林野火災発生以来、一一月一日現在「無火災二〇三日間」を記録しました。これからも、みんなで火災予防に努め、この記録を延長しましょう。

白河消防署鮫川出張所

成人式参加申込みのご準備を！

～村外居住で参加を希望する方～

第三〇回鮫川村成人式は昭和五三年一月一五日に行います。

今回の成人者は、昭和三二年四月二日から昭和三三年四月一日までに生れた方です。

村外に居住する方で、特に村主催の成人式に参加を希望される方が毎年ありますが、成人する方をもつ家庭では今から本人と連絡をとり、もし参加希望であれば、つぎにより申込んで下さい。

記

一、申込期限　昭和五二年一二月二五日

二、申込先　鮫川村公民館（電話三一五一）

三、申込事項
①氏名　②生年月日　③住所
④世帯主氏名住所

ねたきり老人を慰問

―民生委員一同で

村の民生委員（委員一六名、代表中川西金之助総務）は去る一〇月一七日と一八日の両日、村内のねたきり老人家庭を訪問して、肌着や敷布等の見舞品を贈りました。

現在二六名のねたきり老人が居りますが、民生委員は一一月末日で任期満了となるので、最後の事業としてこの訪問活動を行い、老人の方々から大変感謝されました。

忘れていませんか!!

国民年金保険料、未だ納めていない方は、早めに納めましょう

納税案内

一一月

固定資産税　第四期
国保税　第六期

納期限　11月25日

父の汗　母の工夫で
明るい納税

とり入れをたのしむ保育所の幼児たち



鮫川保育所では健康なからだと土に親しむ心を養うねらいで、サツマイモの栽培を経験させています。

今年も親切な保母さんの指導で収穫のよろこびを味わいました。大きなおイモを掘りあげて得意満面の子供たちに、秋の陽が赤々とかがやきました。